古石ひでさと4期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石　後援会だより

URL：http://古石.com/

第　３７７３号
発行令和３年７月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

猛暑　干ばつで農家の方々対策なしで

猛暑で干ばつに拍車

6月下旬から雨不足　降水量平年の16％

タマネギ農家に影響

6月下旬以降の少雨に加え、ここへ来ての連日の猛暑で干ばつ傾向に拍車がかかり、タマネギ農家が影響を心配している。この時期はタマネギが丸々と太っていく「肥大期」に当たるが、水不足と高温で生育が進まないためだ。今後は害虫被害などの恐れもあり、8～9月の収穫期を前に、農家は収量の落ち込みを危惧している。

「球が平年より一回りくらい小さい」。岩沢市若松町で10㌃にタマネギを作付けする鎌田保夫さん（72）は嘆息する。極端な少雨と高温で、球の肥大がほぼストップした状態という。

札幌管区気象台によると、同市内では6月20日に23㍉の雨が降って以降、7月5～8日に天候がややぐずついた程度で、まとまった雨がない状況。肥大期に当たる6月21日から1カ月間の降水量は15㍉と、実に平年の16％という少なさだ。

さらに12日以降は、日中の最高気温が25度以上の夏日が続き、うち20日までの5日間は30度以上の真夏日となった。「寒冷地作物のタマネギは25度以上になると生育が止まるとされ、影響は大きい」と鎌田さん。

乾燥と高温で害虫が付きやすい状態になっているのに加え、市内では16日から小麦の収穫が始まり、今後は小麦の害虫がタマネギのほ場に移動し、被害が発生する恐れもあるという。「3年連続の平年作だったが、今年は収量が減りそう」と鎌田さんは肩を落とす。

タマネギの生育を心配する鎌田さん

いわみさわ農協管内では今年、約140戸の農家がタマネギを計1080㌃に作付けしているが、販売促進部門の担当者によると、「地域によって若干差があるものの、総じて干ばつの影響を受けており、厳しい状況」と説明する。

空知管内では約300戸の農家が計約2100㌃にタマネギを作付け。21日に、15日現在の農作物生育状況を発表する空知総合振興局では「15日時点で生育は順調と聞いている」が、今のような天候が続けば影響が出かねない。引き続き状況を注視したい」と話している。【末永直樹】

奈井江などで3人　新型コロナ感染者数

市町村別の感染者数を初めて公表した6月20～26日の管内の感染者数は1人、6月27日～7月3日は3人、7月4～10日は4人だった。

道は19日、7月11～17日まで1週間の市町村別の新型コロナウイルス感染者数を公表した。空知管内の感染者は岩見沢市と砂川市、奈井江町で各1人の計3人だった。

国道で100人が旗の波

振興局と教育局

【岩見沢】空知総合振興局と空知教育局の職員約100人が16日、9西3～5の国道12号沿いで交通安全運動の「旗の波運動」を行った。交通安全旗を手に、交通ルールの順守を訴えた＝写真＝。夏の交通安全運動

地元高校の魅力知って

岩見沢　4校合同で来月説明会

【岩見沢】市内の公立4高校が8月22日、市内の小学5、6年生と中学1、2年生に加え、その保護者を対象とした合同の学校説明会を初めて開く。毎年100人ほどが市内から札幌やその周辺の高校に進学しているといい、地元校の魅力を伝えることで市内各高校への進学者を増やしたい考えだ。

岩見沢東、岩見沢西、岩見沢農業、岩見沢緑陵の各校。中3を対象に各校ごとに行ってきた従来の説明会に加え、魅力を知ってもらうための新たな取り組みを昨年度から検討、実現に至った。中学入学時に既に志望校を決めている生徒もいることから、小5、6も対象に加えた。

当日は午前9時半～11時半、市教育研究所（市緑が丘2）で行う。各校10～15分ほど、生徒自らが自校の特色や良さを紹介する。質問時間も設ける。来年度以降も継続する考え。

市内では2019年度に岩見沢西、20年度に岩見沢緑陵がそれぞれ1学級減となった。道教委は24年度から岩見沢東を1学級減とする計画案を公表している。

「市外流出」を減らすことは、学級数の維持にも結びつく。初回の当番校、岩見沢西高の金久保義徳教頭は「早い段階から市内の高校に興味を持ってもらい、親しみを持てるよう発信したい」と話す。

市内各小中学校を通じて7月29日まで参加を受け付け、応募者が多い場合は高学年を優先させる予定。保護者のみの参加も可。問い合わせは、岩見沢西高☎0126・22・1019へ。（石橋治佳）

初開催となる市内の公立4高校による合同説明会のポスター

管内　今年初の猛暑日

1市2町で史上最高気温

道内全域が高気圧に覆われた影響で、空知管内は19日も引き続き気温が上昇し、最高気温は芦別市で35・4度、新十津川町空知吉野と月形町はいずれも観測史上最高の35・0度と、管内では今年初めて最高気温が35度以上の「猛暑日」を記録した＝別表＝。今後1週間も気温が平年よりかなり高くなる見通し。

美唄市も観測史上最高を更新。長沼町は前日の18日、岩見沢市は1981年8月1日と94年8月10日に並ぶ、いずれも観測史上最高タイ

19日の空知管内10観測地点の最高気温

地点	最高気温(度)	平年差(度)	
沼田町	32.1	+6.4	今年最高
深川市	32.8	+7.5	
新十津川町空知吉野	35.0	+9.3	観測史上最高
滝川市	34.9	+9.4	7月の観測史上最高
芦別市	35.4	+8.7	今年最高
月形町	35.0	+10.2	観測史上最高
美唄市	34.8	+9.1	観測史上最高
岩見沢市	34.7	+9.4	観測史上最高タイ
長沼町	34.9	+10.7	観測史上最高タイ
夕張市	34.1	+10.3	7月の観測史上最高

モデルナ製5000万回分追加

厚労省契約　来年初めにも輸入

厚生労働省は20日、米モデルナ製の新型コロナウイルスワクチンについて、5千万回分の追加供給を受ける契約を同社と武田薬品工業との間で締結したと発表した。早ければ2022年初めから輸入する。モデルナは変異株に対応したワクチンの開発も進めており、成功した場合は新しいワクチンの供給を受けることもできる。

3回目接種を念頭

ワクチンの効果は、どのくらいの期間続くのかまだ分かっておらず、追加で3回目の接種が必要になった場合に備えて新たに契約した。海外では効果を持続させるため「ブースター」と呼ばれる3回目以降の接種を既に進めている国もある。

田村憲久厚労相は報道陣に「引き続き連携して円滑なワクチンの供給に向かって努力をしてまいりたい」と述べた。

日本政府はこれまでにモデルナ製ワクチンについて、21年9月までに5千万回分の供給を受けることで契約を締結。日本国内での販売や流通を武田薬品が担う形で輸入されており、大規模接種会場や職場での接種に使われている。

追加契約について武田薬品は、モデルナによる開発が成功して製造販売の承認が得られれば「変異株に対応するワクチンや追加接種に用いるワクチンを日本へ供給する可能性も含まれている」としている。

厚労省は、米バイオテクノロジー企業ノババックスのワクチンについても22年初頭から1億5千万回分の供給を受けることを前提に武田薬品との間で協議を進めている。

岩見沢の2病院　統合で基本合意

南空知の中核医療担う

【岩見沢】岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院が20日、統合への基本合意書に締結し、2027年4月をめどとする新病院の開設へ動きだした。今後1年程度かけて、医療需要に見合った新病院の規模や機能、建設候補地などをまとめた基本計画を策定する方針で、南空知の新たな中核医療機関づくりが加速する。（浦崎竜馬）

2病院統合の基本合意書を締結した松野哲・岩見沢市長（右）と有賀徹・労働者健康安全機構理事長

1年かけ基本計画策定

基本合意書は統合の目的を、人口減が続く南空知（4市5町）における急性期医療機能の維持、強化を目指し、医療資源を集約して地域医療の再構築を図るためとした。統合で誕生する新病院の設置、運営は岩見沢市が担い、統合まで中央労災病院は運営を継続すると明記。新病院の名称は市が定め、両病院の患者が新病院でも継続して診療を受けられるよう配慮するほか、労災病院の職員のうち新病院での勤務を希望する人は原則採用する。

中央労災病院は1955年、炭鉱が盛んな空知で じん肺患者を診療する目的で開院し、約70年で使命を終える。設置する独立行政法人労働者健康安全機構（川崎市）の有賀徹理事長はこの日の締結式後、「労災病院が担ってきた取り組みも、新しい病院が引き続き担うと思っている。寂しさもあるが、地域が栄えるための大事なステップ」と述べた。

市によると、これから約1年かけて基本計画を策定後、基本設計と実施設計を行った上で着工する。建設候補地は「必要面積」や「利便性」など7項目を元に選定予定。現在の市立総合病院は敷地面積や地盤などに課題があり、市は中央労災病院の敷地などを候補に検討する。病床数は、現在の市立総合病院より多く、両病院の合計は下回る規模を想定している。

統合する2病院の概要

岩見沢市立総合病院		北海道中央労災病院
岩見沢市	設置者	独立行政法人労働者健康安全機構（川崎市）
岩見沢市9西7	所在地	岩見沢市4東16
1927年（昭和2年）9月	開設年月	1955年（昭和30年）8月
1984年	建築年（本館）	1954年
484床	病床数	199床
15科	診療科	12科
677人	職員数	289人